

授業科目名	看護教育論	担当教員	教授 津本 優子		
開講年次及び学期	4年後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	15	単位数	1
授業の目的（概要） この科目では、社会の変化や看護職のニーズをふまえて、看護専門職（保健師・助産師・看護師）の生涯教育という観点から、看護の基礎教育と卒業後の継続教育について学ぶ。特に、歴史的変化の大きい看護の基礎教育制度の変遷とその意味、および継続教育と上級資格制度について学び、これからの看護教育のあり方と自分自身の職業生活の展望について考える。					
学修成果（到達目標） 1. 看護教育の目的、特殊性、価値、現在の課題について理解する。 2. 看護職の基礎教育制度とこれからの動向について理解する。 3. 看護職の卒後継続教育システムおよび上級資格制度について理解する。 4. 看護専門職としての自分自身の継続教育の展望について考える。					
キーワード 看護基礎教育、カリキュラム、継続教育、資格認定制度					
授業の進め方 Webexによるライブ講義にて実施する。					
成績評価の方法（合否基準） 最終レポート（Moodle上に提出）を100点満点で評価し、60点以上を合格とする。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 授業中に資料を配布する。					
オフィスアワー 津本優子(基礎看護学講座) 質問等随時 E-mail: tsumotoy@med.shimane-u.ac.jp					
モデル・コア・カリキュラムとの関連 A-1-1) 看護職としての使命、役割と責務 ② 看護職に求められる様々な役割を説明できる。 A-9-1) 自己研鑽の必要性和方法 ① 生涯にわたる自己研鑽の必要性を理解できる。 ② 日々の看護実践の省察の重要性を理解できる。 ③ 自己教育力を高める方法について理解し、個々が実施可能な方法を検討し、実践できる。 A-9-2) 看護学の専門性の発展 ① キャリアパス・キャリア開発の概念について理解できる。 ② 多様な生涯学習機会の獲得方法（実践の振り返り、自己学習、職場における継続教育、学会や専門職団体による各種研修、大学院、共同研究等）を把握し、将来的なキャリアパス・キャリア開発への活用を説明できる。					
準備学修に必要な学修の時間 各講義の中で指示します。					

火曜日

備考